

3年2組 特別の教科 道徳

1 主題名 かけがえのない命 内容項目:D 生命の尊さ

2 教材名・教材について 「助かった命」

本教材は、大地震という状況で、自分の身の安全が危険にさらされることを顧みず他者の救命に向かう父親の話である。

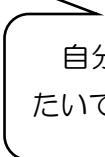
人は生命が危険にさらされると、まず自分の安全を優先して考えてしまうが、生命はいかなる状況であってもかけがえのない大切なものであることに気付かせたい。

児童は、今までの生活経験において、「命は大切にしなければならない。」という認識をもっている。そこで、本教材を通しては大地震等の有事の際には、互いが協力し助け合って自他の生命を守っていくものであることを考えて、ねらいに迫っていきたい。

3 ねらい

生命はいかなる状況にあってもかけがえのないものであり、みんなで守ろうとしていることに気付き、生命を大切にしようとする心情を育てる。

4 本時の流れ

授業の流れ	
導入	1 「命」という言葉で連想する言葉を出し合う。
展開前段	2 教材「助かった命」を読み、命の大切さについて考える。 (1) 教材のどんなところに、命の大切さを感じたかについて話し合う。 (2) 父親が助けに行った場面での、父親の思いについて話し合い考えを深める。
展開後段	3 命を大切にするとはどういうことかについて考え、発表する。 (1) 命はなぜ大切なかについて話し合う。 (2) 自分にとっての「命を大切にする」とは どのようなことか、話し合う。  
まとめ	4 今日の学びを道徳ノートに書く。 学びを発表する。  

◆見どころ◆

「まとめ」では、今日の学びを学習感想として書かせます。その際、「はじめの考え」「変わった」など書く視点を定めることで、授業を通して道徳的価値観について理解したり理解が深まったりしたことなどに児童自身が気付けるようにします。